

明日からできるインプラント周囲疾患へのシンプル・アプローチ!

3-stepと3-zoneで対応する サポーターティブ・ インプラント・セラピー

やさしいインプラント周囲疾患の予防と治療

監修

申 基喆

(明海大学歯学部歯周病学分野・教授)

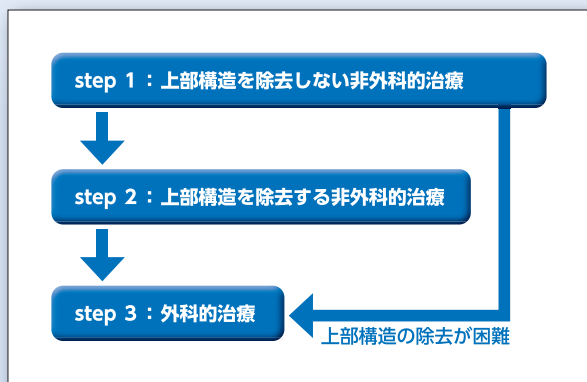
編著

林 丈一郎

(明海大学歯学部歯周病学分野・教授)

- 「サポーターティブ・インプラント・セラピー(SIT)」とは、インプラント周囲組織を良好な状態で維持するだけでなく、インプラント周囲疾患が発症した場合には積極的に介入し、インプラントを長期にわたって機能させるための治療です。
- 本書では、明海大学歯学部歯周病学分野で追究してきたインプラント周囲疾患への対応を、“3-step”と“3-zone”のコンセプトに基づいて、わかりやすく解説しています。
- ほとんどのインプラントは、特別な機器がなくても、術者にとって“易しく”，患者にとっても“優しい”処置で救うことができます。ぜひ、チェアサイドにお備えください。

A4変判・164頁・カラー・定価9,350円(税込)



“3-step”とは、非外科的治療をstep 1、上部構造の除去をstep 2、外科的治療をstep 3とする治療の流れです。



“3-zone”では、ブランクコントロールを、粘膜縁上のzone A、粘膜縁下スムースサーフェイスのzone B、ラフサーフェイスのzone Cに分けて考えます。

3-stepと3-zoneで対応する サポーターティブ・インプラント・セラピー

やさしいインプラント周囲疾患の予防と治療

内 容 紹 介

Chapter 0 序 章

序 論

1. メンテナンスからSupportive Implant Therapyへ
2. SITの処置内容
3. 他院で埋入されたインプラント
4. 上部構造を除去しないSIT
5. 3-stepでの対応
6. 3-zoneの考え方

Chapter I 病 因

- I. インプラント周囲疾患とは
- II. インプラント周囲炎と歯周炎に共通するリスク因子
- III. インプラント周囲疾患に固有のリスク因子

Chapter II 検 査

インプラント周囲疾患の検査

1. インプラント周囲疾患の診断基準
2. 明海大学病院歯周病科のインプラント周囲組織検査表
3. 視診
4. 触診
5. プラークコントロールの評価
6. フロービング検査
7. フロービング深さ
8. フロービング時の出血(BOP)
9. 排膿は深刻な事態
10. インプラントは動揺しない?
11. エックス線検査
12. 咬合診査
13. 軟組織の診査
14. 残存歯の歯周病検査
15. アバットメント(上部構造)除去時の診査

Chapter III 処 置

- I. 粘膜縁上のプラークと粘膜縁下のプラーク
- II. 3-zoneのコンセプト
- III. 粘膜縁上(Zone A)のプラークコントロール
- IV. 粘膜縁下(Zone BおよびZone C)のプラークコントロール
- V. Zone別のPMTCに用いる器具

Chapter IV 3-step SITの実際

- I. SITとは
- II. 3-step SIT
- III. Step 1 上部構造を装着した状態でのプラークコントロール
- IV. Step 2 上部構造除去した非外科的治療
- V. Step 3 フラップ手術を併用したプラークコントロール
- VI. 根尖性インプラント周囲炎
- VII. インプラント体の撤去
- VIII. インプラント周囲の硬組織、軟組織の欠損

執筆者一覧

林丈一郎

石井麻紀子／上田隼也／小玉治樹／大竹和樹
大塚秀春／竹谷佳将／夏堀壮一郎

明海大学歯学部 口腔生物再生医工学講座 歯周病学分野